

2024年7月16日  
真言宗総本山 教王護国寺(東寺)  
東京国立博物館  
文化財活用センター  
TOPPAN 株式会社

**東京国立博物館と TOPPAN、密教彫刻の最高傑作である  
東寺講堂の立体曼荼羅を紐解く VR を上演**

東寺所蔵の国宝 16 体を含む仏像 21 体が高精細で鑑賞できる  
VR 作品『空海 祈りの形』を「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」にて  
7月17日より再上演

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館(所在地:東京都台東区、館長:藤原 誠、以下 東京国立博物館)、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター(所在地:東京都台東区、センター長:大美 慶昌)と TOPPAN ホールディングス株式会社のグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)は、真言宗総本山 教王護国寺(東寺)(所在地:京都府京都市、執事長:三浦文良、以下 東寺)が所蔵する 21 体の仏像で構成される立体曼荼羅を再現した VR 作品『空海 祈りの形』を、東京国立博物館 東洋館内「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」にて、2024年7月17日(水)から10月14日(月・祝)まで上演します。

本 VR 作品は、弘法大師空海(以下 空海)が日本で完成させた真言密教の歴史と、東寺講堂に安置されている平安時代前期に作られた密教彫刻の最高傑作である立体曼荼羅を紹介するものです。国宝 16 体、重要文化財 5 体の合計 21 体の仏像について、立体形状計測と高精細デジタル撮影によるデジタルアーカイブを実施。TOPPAN の VR 技術で仏像すべてを高精細に再現することで、現地では見ることが困難な角度や位置から 1 体 1 体を拡大するなど、VR ならではの視点で立体曼荼羅を鑑賞できる作品です。

この度、東寺と同じく空海ゆかりの寺院である高雄山神護寺をテーマにした創建 1200 年記念 特別展「神護寺—空海と真言密教のはじまり」が、東京国立博物館 平成館にて 2024年7月17日(水)から9月8日(日)まで開催されるのと時期を合わせて 2019 年に初演した本 VR 作品を再上演します。さらに、空海への理解深耕、来場動機の創出を図るプロモーションとして、上演期間中、空海の月命日である「弘法さん」の日(毎月 21 日)に、プレゼント企画も実施します。



「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」上演イメージ  
VR 作品『空海 祈りの形』 監修:東京国立博物館、真言宗総本山 教王護国寺(東寺) 制作:TOPPAN 株式会社

## ■ 東寺講堂の立体曼荼羅について

空海は、言葉では伝えにくい密教の教えを視覚的に表すために、21体の仏像で構成される立体曼荼羅を構想しました。密教の教えを広めるために建立した講堂に、最上位の仏とされる大日如来を中心として四方に4体の如来を配した五智如来(重要文化財)と、その右側に金剛波羅蜜菩薩を中心にした五大菩薩(国宝)、左側に不動明王を中心にした五大明王(国宝)、四方には四天王と梵天、帝釈天(いずれも国宝)が諸尊を守るように配しています。この立体曼荼羅は平安時代前期の密教彫刻の最高傑作とされています。

## ■ VR 作品『空海 祈りの形』について

### ・空海ゆかりの国宝・重要文化財を交えて入唐から講堂建立までの空海の軌跡を解説

重要文化財「紙本著色弘法大師行状絵詞(しほんちゃくしよく こうぼうだいし ぎょうじょうえことば)」(東寺所蔵)を用いて、空海の入唐から講堂建立までの軌跡をたどります。

### ・立体曼荼羅 21 体の仏像を VR ならではの手法で鑑賞

立体形状計測と高精細デジタル撮影で取得したアーカイブデータを元に、東寺講堂の立体曼荼羅 21 体の仏像を VR 技術で再現。東京国立博物館内の「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」では立体曼荼羅の中央に配置された高さ 7 メートルの「大日如来」を実物大でスクリーンに投影するなど、仏像 21 体の複雑な形状をさまざまな角度や位置から VR ならではの視点で鑑賞することができます。

### ・空海が独自に構想した立体曼荼羅を紐解く

本作品は、空海が配置した仏像の位置を正確に再現。現地の講堂内部にある柱を VR 上で取り除き、配置された仏像をめぐりながら、その位置関係から空海の構想した立体曼荼羅の意味を紐解きます。



左:「弘法大師行状絵詞」をアニメーションで再現、右:VRならではの視点から「大日如来」を間近にその魅力に迫る VR 作品『空海 祈りの形』 監修:東京国立博物館、真言宗総本山 教王護国寺(東寺) 制作:TOPPAN 株式会社

## ■ 「弘法さん」の日限定 オリジナルステッカープレゼント

空海の月命日である 21 日に東寺で毎月行われている「弘法さん」にちなんで、7 月 21 日(日)、8 月 21 日(水)、9 月 21 日(土)に、VR 作品『空海 祈りの形』を鑑賞いただいた方には、ミュージアムシアター限定のオリジナルステッカーをプレゼントします。

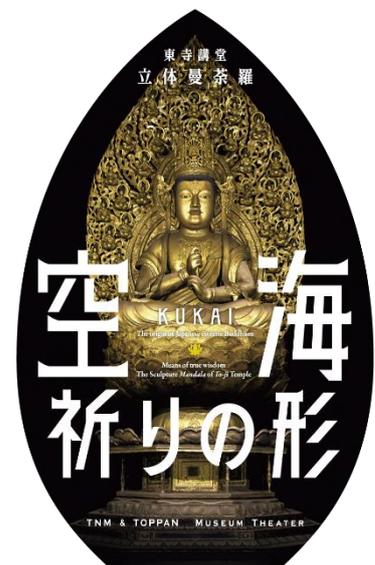
\*ステッカーは数量限定のため、なくなり次第終了となります。

\*ステッカー画像はイメージです。

○プレゼント企画実施日:

2024 年 7 月 21 日(日)、8 月 21 日(水)、9 月 21 日(土)

\*ステッカーは上演終了後にお渡しいたします。



## ■ VR 作品『空海 祈りの形』上演案内

場所	東京国立博物館東洋館地下1階 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター
期間	2024年7月17日(水)～10月14日(月祝)
上演日時	水・木・金 12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 土・日・祝・休日 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 *所要時間約35分、各回定員90名 *上演スケジュール、定員は都合により変更する場合がございます。
鑑賞料金	高校生以上:600円 中学生・小学生:300円 未就学児、障がい者とその介護者各1名:無料 *チケットは、シアター前券売機で購入してください。 *開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。 *高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途博物館入館料が必要です。
シアターウェブサイト	<a href="https://www.toppan-vr.jp/mt/">https://www.toppan-vr.jp/mt/</a>

## ■ 「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」について

「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」は、VRによる文化財の新しい鑑賞方法を体験できる施設です。「バーチャルリアリティで時空を超える」をコンセプトに、東京国立博物館の収蔵品を中心とする文化財デジタルアーカイブをVR技術で可視化。文化財の姿をあざやかに映し出す超高精細4Kプロジェクタ、300インチの迫力ある大きなスクリーン、専属のナビゲーターのライブ上演により、コンピュータが生成する三次元空間の中にいるかのような感覚で文化財を鑑賞できます。文化財の往時の姿の再現や肉眼では鑑賞することが難しい細かなディテールの拡大など、デジタルならではの文化財との新たな出会いと楽しみ方を提供する空間です。

・シアターウェブサイト: <https://www.toppan-vr.jp/mt/>

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上